

## 三重大学生物資源学部による棚田での農作業支援活動

### < 三重県 >

1. 市町村・集落の名称	三重県熊野市紀和町丸山
2. 協働の相手（企業や大学等）の名称	三重大学生物資源学部
3. 仲介者・コーディネーターの名称	三重県、熊野市、ふるさと公社
4. 協働のポイント	農村側は普段から都市部の主体との交流が少ないことから主体的な働きが少なく、県、市、大学等が連携を密にし、日程や作業内容等について農村側の受入調整を行う必要がある。
5. 協働のきっかけ・経緯	過疎化や高齢化により後継者が不足し、田畑等の保全・管理に必要な労働力が年々減少している。そこで、三重大と連携を行っている中で、三重県東紀州地域の代表的な棚田を選び、人的支援として、平成17年度から試験的に、ワーキングホリデー制度の導入検討を行ってきた。
6. 取組の具体的な内容	約10名棚田での草刈り、畦そり
7. 農村地域への効果	共同作業により困難な作業を補完できた。 大学生と交流が出来、地元農家が若者との交流を楽しむことができた。
8. 都市部の主体（企業や大学等）への効果	実際に農作業を体験できた。農家の現状、作業の大変さがわかった。
9. 仲介者等の役割	ワーキングホリデー制度が構築され、今後継続されていくように関係機関等との調整等を行っている。
10. 今後の課題	継続していくための経費が必要。特に遠隔地のため宿泊を伴う場合が多く、作業者の宿泊代、交通費等をまかなうことが課題である。
11. 関連事業（国・都道府県等）	ふるさと水と土保全対策事業